

【第1部】

◆プロローグ／ヴァイオリン演奏

◆朗読

「茨木市で」(1968年、エッセイ)

掌の小説から

「雨傘」(1932年)

「写真」(1924年)

「不死」(1963年)

◆演奏コーナー／矢部達哉

【第2部】

◆朗読

「伊豆の踊子」(1926年、一部省略)

雨傘

言の葉コンサート

朗読とヴァイオリン演奏による川端康成の世界

川端文学のふるさとからおくる――

伊豆の踊子

茨木市で

不死

写真



朗読◎江守 徹 *Tohru Emori*

ヴァイオリン◎矢部達哉 *Tatsuya Yabe*



2008 **12/5[金]**

19:00 開演(18:30 開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

【全席指定席】

1階席=3,500円／2階席=3,000円◎65歳以上、障害者及びその介助者は500円引き◎青少年(24歳以下)=1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引(各会員割引の取り扱いは財団のみです)

*就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

◆9月3日発売

◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団 072-625-3055(茨木市市民会館1階 8:45～17:15)

◆その他の販売所

JA茨木市本所 072-627-7762(総務課)／朝日野村北販売(株)072-643-8424

ローソンチケット 0570-000-777・ローソンチケット Lコード予約 0570-084-005(Lコード 56602)

電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 389-212) ※ぴあは割引なし

◆主催:茨木市・茨木市教育委員会・茨木市立川端康成文学館・(財)茨木市文化振興財団◆後援:茨木市観光協会・茨木商工会議所◆制作:DeuxDesignドゥデザイン

川端康成



道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃、

雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追って来た。——「伊豆の踊子」の冒頭から

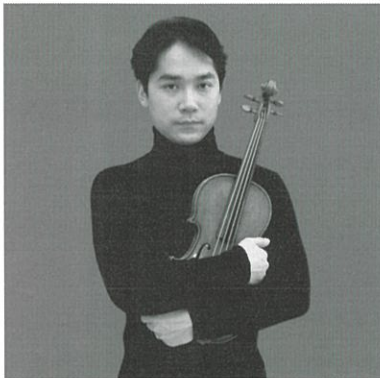
初期の代表作「伊豆の踊子」をはじめ、ノーベル文学賞受賞の年に書かれたエッセイ「茨木市で」、そして川端文学の美学と様式の根源ともいわれる短編群“掌の小説”から「雨傘」「写真」「不死」—青春期の思い出、晩年の深まる哲学世界を、日本を代表する舞台芸術家が表現する—川端文学“愛と思索の軌跡”！

〈“掌の小説”は、掌(てのひら)に書いたほどのごく短い小説のことをいう。康成はこれを“掌(たなごころ)の小説”と読み、146編もの作品を書いた。〉

*

江守 徹 Tohru Emori

東京都出身。1962年、文学座研究所入所。66年、座員となり現在に至る。文学座をはじめ新劇の中心俳優として舞台上で活躍するとともに、テレビ、映画、ラジオにも数多く出演し、お茶の間にも広く知られる大スターである。また、海外の舞台劇の翻訳や演出の分野でも優れた才能を発揮している。昭和48年度第8回紀伊國屋演劇賞・個人賞(『オセロー』)、平成元年度日本アカデミー賞・優秀助演男優賞(映画『社葬』)、平成6年度第2回読売演劇大賞・優秀演出家賞(『ウェストサイドワルツ』『恋ぶみ屋一葉』)、平成18年度第28回松尾芸能賞・大賞(『シラノ・ド・ベルジュラック』)の各賞を受賞。翻訳作品に、「アマデウス」(劇書房)、「ウェストサイドワルツ」(劇書房)等がある。



矢部達哉 (ヴァイオリン) Tatsuya Yabe (Violin)

洗練された美しい音色と深い音楽性によって、東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターを務める傍らサイウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・チェンバー・オーケストラ、ソロ、室内楽で活躍。京都アルティ弦楽四重奏団のメンバーとしても定期的に演奏会を行なっている。ソニークラシカルより5枚のCDを発売。1997年、NHK「あぐり」のヴァイオリン・ソロで、クラシックに馴染みのない視聴者にも大きな反響を呼ぶ。ソリストとして小澤征爾、若杉弘、ジェイムズ・デブリースト、エリアフ・インバル、ガリー・ベルティエニを始め数々の著名指揮者と共演。95年第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオークラ音楽賞を受賞。上野学園の教授として後進の指導にもあたっている。1968年東京生まれ。江藤俊哉に師事。

「言の葉コンサート～朗読とヴァイオリン演奏による川端康成の世界」関連企画

朗読を楽しむために“『伊豆の踊子』を読む”文学講座

- ◆日 時:平成20年11月21日(金) 2:00PM～4:00PM
- ◆講 師:前賢明女子学院短期大学教授 森本穂さん
- ◆受講料:500円
- ◆申 込:11月12日(水)～17日(月) 9:30AM～5:00PM 直接文学館へ 電話申込可 (TEL 072-625-5978)

◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団 072-625-3055 (ユアアイホール1階 8:45～17:15)

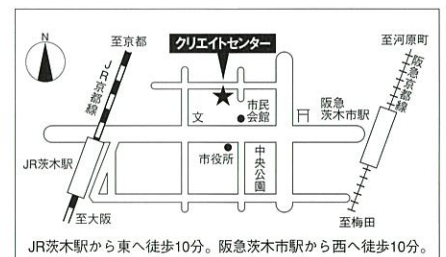
*発売初日から電話予約もお受けしますがお席はお選びいただけません。

*予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送料300円〉を、郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払い込み確認後の発送となります。

〈振替口座〉00970-7-190576 / 加入者名:財団法人茨木市文化振興財団

*窓口販売と電話予約が競合する場合は窓口販売を優先しますので予めご了承ください。



◆クリエイトセンター(茨木市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726